



▲ 川上潤さん(商3) 研修先(株)クリーンテックサーマル



▲ 吉賀恵理さんと小長谷晃子さん(経営2) 研修先(株)システムステーション



▲ 牧野友梨子さん(経済2) 研修先 狛江市役所



研修先(株)パートナー 鈴木愛美さん(商3)

ビジネスに必要な知識・技能・マナーを現場で学ぶと同時に、学目的の再確認の場となるインターンシップ(就業体験)。11月から12月にかけて、研修先の企業、団体の方々に招いて経済学部学外特別研修、経営学部企業研修、商学部インターンシップ報告会が開かれた。



秋山美也子さん(経営2) 研修先(株)エトワール海渡

ビジネスに必要な知識・技能を現場から学ぶ



研修先(株)生活の木 八木沙織さん(経済3)

経済・経営・商学部でインターンシップ報告会

ネットワーク情報学部の学外展示会

第5回コウサ展開催

日時 1月31日(土) 2月1日(日) 時間 10時~16時(予定) 会場 日本科学未来館

テーマは あんてな



●詳細はコウサ展ホームページ (http://www.ne.senshu-u.ac.jp/~kouasa 2009/)でご確認ください。



「創造工房短編映画『Potential~そのまの君で~』(中村友保プロジェクト)

PROJECT 2008 EXHIBITION

グループ演習の成果発表 企画・運営も学生の手で

ネットワーク情報学部のカリキュラムの中心に据えられている3年次必修の演習科目「プロジェクト」。教員と学生がアイデアを出し合い、ディスカッションを重ねながら学習内容を作り上げる。

発表会では、1・2年次で習得した知識や技術を生かして取り組んだ内容を、わかりやすく工夫して発表した。3年次生だけでなく、すでに履修を終えた4年次生やこれから履修する2年次生の有志でつくる「プロジェクト発表会実行委員会」が計画から準備、開催までの裏方を担当し、学部の魅力をアピールした。



「マイニワ~8bitマイコンで楽しい箱庭を作ろう~」



「Po^ti 近未来の文房具を作る」

ネットワーク情報学部 (二上貴夫プロジェクト) (小林隆プロジェクト)



「体育祭」12チームが熱戦 一部体育祭が12月13日、生田キャンパスで行われた。12チームが参加し、体育会バスケットボール部が優勝した。



11月26日、神田キャンパスで開催された写真。学生相談室主催で、プロのカラーリストを講師に招き、受講生同士でディスカッションしながら、自分に合う色を探した。

自己色発見!

パーソナルカラーを見つけよう!

こんにちは! 就職課です ③

講座活用術 その参

を確実に伝えられる。そして第3に人数が絞られるため、学生は自分をアピールする場になることができる。チャンスを生かせ、専大生!

【就職大相談会】 4年次生25人が大集合! 1月29日(木) 生田キャンパス 本番直前に、4年次生が後輩のために持っている力をすべてを發揮! 実際に通過したエントリーシートや面接の受け方など、就職活動を経験したからこそ伝えられる「生きた情報」を持つてくる。就活の修羅場をくぐり抜けてきた先輩が、3年次生と同じ目線で「気軽に」しかし「真剣に」相談を受けてくれる。これを逃すと4年次生と話す機会ほとんどなくなる。生田の坂を登る価値、大の1日だ。 【地方銀行学内セミナー】 金融志望・Uターン希望者必見! 1月30日(金) 神田キャンパス 15都道府県28行の採用担当者が専大生のためにだけ集合する。企業にとっては、ビッグサイトなどの合同説明会の方がより多くの学生と会えるのになぜ来校するのか? その理由は3つ。 第1に、その企業で専大生の評価が高いからだ。来校する企業では、必ず卒業生が活躍している。第2に学生と非常に近い距離なので企業は自社の情報

この他、就活直前講座「自己PR・志望動機のポイント」、グループディスカッション講座(実践編)も実施! ④ 「面接」を必ずチェックしよう。

第36回専フィル定期演奏会

グリーク、シベリウスを熱演

12月6日、ミューザ川リ奇想曲から明るく崎シンフォニーホールスタート、続いてグリーク・ギョントの味わいが感じられた。指揮の栗田博文さんは国際シベリウス指揮者コンクール最高位の実力者。シベリウス「交響曲第1番」はアケートな音響設備を誇るミューザ川崎の会場に適した選曲で、指揮者の強い思い入れと、それに応えた団員の情熱が感じられる熱演だった。アンコールも同じシベリウスの「カレリア組曲」から行進曲、「アンドンテ・フェスティー



立川 談修さん

ヴォ」と聴衆に十分な満足を与える演奏会となった。今回は特に指揮者による曲の解説があり、コンサート当日はフィンランドの独立記念日に当たることなど、より深い理解も得られた。 次回は6月にサマーコンサートでチャイコフスキーの交響曲第5番などを予定。また、12月の定期演奏会は創立130年記念演奏会として、ベートーベン交響曲第9番に挑戦すること。当日は必ず「歓喜の歌」が聴けるものと信じる。(K・S)

(写真提供:多摩スタジオ)